

になつたが、最近平水道の水を
撒水に供給するのは條例違反で
ある等の問題が起つたので撒水
自動車設置の件について十五日
午前十時から町會を召集した。
青沼、大森、阿部(唯)萩原、吉
田(五)野崎、佐々木等各議員か
ら質問あり之に對し伏見町長並
に水道課長は

平町現在の水道に於ては毎日
四千石の水が余つてゐる、今
日まで撒水に要した水は一日
五百石で今後平全町に撒布す
るとしても千石以内で足りる
と説明し、満場一致を以て平町
の撒水は平町營で之を行ひその

湯本町に於て内郷村綴の三星炭礦から引用してゐる温泉は去る
六日石城地方に強震があつた日
から温泉が黒色に混濁し十日を
経たる今日尚ほ舊に復せず炭礦
技術者の話によると強震のため
地下水脈が崩壊して湧出箇所が
變化したものであらうと語つて
ゐるが、黒色に變ると同時に湧
出量も非常に増加したので地元
民は何れも不思議がつてゐる。
▲小學校に寄附 平町
杉平松本圓藏氏は長男繁兒君

水に變化を來す
警城中學校に入學した紀念として平第一校に金拾圓、同搔搥小路小野鶴治氏は亡父の遺志により平第一校に金廿圓を寄附した
平 地 方 の 夏 驚 悲 慘

十前三時半頃突然起き出したので妻は便所に行つたものと思つてゐたが歸らぬため行衛を搜索した處、松ヶ岡公園地内薬王寺脇櫻の木に細紐を吊り縊死してゐたのを發見届け出たので平署から齋藤部長出張檢死し矣。
なつた。

内郷村大字白水大越五平一家五人を皆殺しにした犯人同村鈴木治八郎の殺人事件公判は十六日前九時から平支部に於て開廷さるゝ筈であつたが九月十六日に延期された。

妹の寫眞を
飲食店 前借款

見せ 見る
詐取犯捕はる
山梨縣甲府市橋町料理店西條
方に居る自分の妹ヨシの寫真
見せ、是非奉公せしめたいと、
込み前借金として二百圓を受
りそのまま詐取逃走して湯本
に潜伏するがもので同人は
年五月五日横領詐欺罪で横須
刑務所で懲役一年に處せられ
る三月減刑により放免され
るのである。

平町に於ける道路の撒水計画は、數年前からの懸案であつたが實現するに至らず。町民は何れも塵埃に悩まされてゐた處去る六月以来、平消防組が優柔不斷な町当局の態度に憮らす磐城炭礦から自動車を借り受けて試験的に撒水を實行してゐたが、最初は一丁目から五丁目迄と、田町附近各區が賛成したのみで、其他の撒水を依頼しなかつた處、其後撒水の状況を見てその効果偉大なるに驚き、紺屋町・搔掘小路・長橋に至る下町の撒水も希望するやう

平町では十五日の町會に於て平水道大
附新築準備委員並に平水道大
附未納整理委員として左の如
による事に決定した。

も其苦馬鉛著一升が十二錢で
あると言ふのに玉蘭は一升十錢
とも買手が喜んで買はないとの
有様である。

前夫 駆落した後間もなく振られ各所を彷徨つてゐたが遂に食ひやうもなくなり飄然立ち戻つて來たが家にも這入れず間誤つ

自 動 車 で
五 名 重 傷
十三日午前四時頃平町字南町芹澤自動車店所有乗合自動車を運轉手井上某が操縦し平町に益踊りを見物に來てゐた下小川村の乗客十數名を乗せて平町を出發小川村に至る途中平塙村に於て運轉手が操縦を誤り車体を電柱に衝突させ車外につかまつてゐた助手渡邊武(一七)は電柱に胸部を強打して其の場に昏倒し乗客で同様車外にゐた下小川村大

(十五日) 馬 村
平町南町の橋本喜一といふ人が夜更けた新田町街路で墓口を拾つた。
平署で調べた處、中には現金十五圓の外に「甲子さみす」、「谷口はつ子」其他藝妓の優い名刺が入つてゐる。これが風巻縣祝學の遺失物判明、その夜は随分醉つたのと見ねる。

平町の撒水自動車

| | | |
|-----------|-----------------------|--|
| 議 | 役場新築準備委員 | 吉田定太郎、櫻井清、野崎滿藏、星野清吉、渡邊貫一、會川卯三郎 加納五郎 |
| 平水道寄附整理委員 | 佐藤岩次郎、會川卯三郎、大谷久藏 註 | 出見 |

懲賞で募集
本町白銀町では既報の如く十八日同町妙見神社例祭余興として益踊りを行ふ筈で當日は踊子の假裝を懸賞で募集する筈で盛況を象想されてゐる。

午署では運轉手を召喚し取調中
そぞろにいた
こうまで安いことは
—加納活版所の印刷物!!

十夕
日刊
夜之歌

印鑄業發行人人同田弘威
福島縣石城郡平前船岡町十四
號 昭和石城郡平前船岡町十五
行所 著者時報社
一部金武錢 一ヶ月金
廣告料一行十四字結金五十錢
△日刊(二編) 燈日休刊

分なる成績を擧げ得ざりし蓋
家は夏蘭に於て又しても蘭價
鹿安の爲め大なる痛棒を與へ
れ泣き言だらぐのみじめさ
見せてゐるが現在の生産費か
打算すると蠶種給桑等算盤に
飯野村字小泉農根本留吉妻根本
さく(四六)は去る四年程前附近
農家の賃稼ぎに來た男の甘言に
食ひやうがなれ

なつて歸る

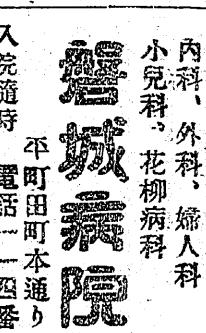
日本均(三四)同吉田清吉(二二)同
日本敏雄(二三)同松本豊(二一)
の四名も勿ね飛ばされ同様重傷
を負ひ直に附近外科醫院に收容
應急手當を施したが、渡邊及び
古田の兩名は生命危篤でありそ
の如き。

字比平田大學醫學部二年生公

川前村の

轢死人判明

十三日午後五時四十分頃川前村字山下谷地内磐越東線鐵道線路に於て推定年齢六十歳前後の男が轢死を遂げたが身元不明のため同村役場に於て假埋葬を行つた處、十四日右轢死者は伊達郡飯野村生當時湯本町字八仙居住となりと判明した、同人は酒毒のため中風症にかかり痴呆の状態となつてゐたもので厭世自殺であらうと言はれてゐる。



内科、外科、婦人科
小兒科、花柳病科

入院隨時
平町田町本通り
電話一一四番

代理 山野邊薬局
平町五丁目角

虎丸樂燕
揃つて来る
平町空前の壯舉

平興界破天荒の試みとして愛好家某は浪曲界日本一の評ある東家樂燕、蓬中齋虎丸両師の合同出演を希望し數ヶ月前より其の交渉に努めつゝありと云ふが東京以外地方に於ては未だ曾て見る所の如であつて甚だ難事の問題ではあるが果し、實現するに於ては當地興行界の記録を残すものにして且つ地方の愛好家諸君も居ながら兩横綱の決戦演が聞かるゝであらう。



ニ ツルヤ洋品店
平町四丁目【電話百四十番】

過般來磐店にて賣出しました貳圓五拾錢の男朱子洋傘の内貳拾本程不良品が有りましたので氣付かず販賣致しましたからあらゆる冒険にて應ざる人々に直ちに服用を勧む



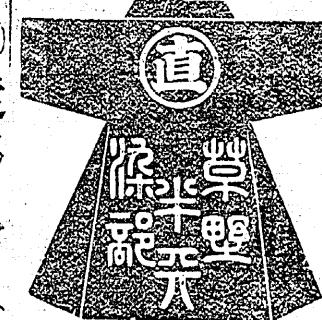
業科 目

◎ 徒弟入用
（徒弟契約に付ては年明きに際し有利に御相談申上候）
トモ 親切第一
電氣機械器具
電線類絕緣料
確實敏捷
通信機械器具
其他器具修繕

トランスル
芝浦製
ひ向行銀越磐町南町平
店商機電瓶三
番三八七番電話

度量衡指定販賣人
西村屋藥舗
平二三番電話

金牌 印半天専門
優秀品の証明
草野染工場
磐城平町
電話三四八番



◎家庭になくてならぬもの
寒暖計體溫計各種
イマツ蠅取粉

絹張傘
海水浴着
ホワイトシャツ
贈答品靴下半打入
大谷時計病院
洋品部
田町（電話四三番）

度量衡指定販賣人
西村屋藥舗
平二三番電話

金物問屋

和洋銅鐵

金物問屋

和洋